



清々しい季節。…のはずが夏のような日もあり、台風も発生しますね。これから梅雨の季節、豪雨などの大雨も心配です。新年度の生活も慣れてきた頃、体調管理に気をつけて元気に過ごしましょう！

今月の礼拝 単元10: ヤコブとヨセフ

…お話 ♪…奏楽

月日	週 題	聖書箇所	ティーンズ礼拝 (小4~中学生) 9:00~9:30	プレイ・タイム (小学生/中学生) 9:35~9:55	こどもれいはい (幼児~小3) 10:00~10:20
6月2日	ヤコブの旅	創世記 28章	📖 武岡 基 ♪ 武岡路実	花の日、カード作り	📖 武岡路実 ♪ 安達いづみ
6月9日 花の日・子どもの日	ヤコブの帰郷	創世記 31:1-18、32:1-33:11	📖 武岡路実 ♪ 安達いづみ	花の日、カード作り	📖 安達いづみ ♪ 武岡路実
6月16日	夢を見るヨセフ	創世記 37章、39:1-2	📖 安達正樹牧師 ♪ 安達いづみ		📖 安達正樹牧師 ♪ 安達いづみ
6月23日	大臣になるヨセフ	創世記 39:3-41:45	📖 武岡 基 ♪ 安達いづみ		📖 安達いづみ ♪
6月30日	兄弟との和解	創世記 42:1-45:15	📖 安達正樹牧師 ♪ 武岡路実		📖 武岡 基 ♪ 武岡路実

花の日・子どもの日 6月9日

教会の暦で、6月第2週の日曜日は「花の日」と「子どもの日」です。「花の日」として、教会を花で飾ったり、花を持って自分たちがお世話になっている方々を訪問したり、お見舞いに行ったりすることもあります。「子どもの日」としては、子どもの健康や成長を祈る礼拝を守ったり、祝会を催したりします。名古屋新生教会では礼拝堂にお花を飾って礼拝を守ります。



「父の日」教会から始まりました

父の日は、母の日と同じくアメリカ発祥の祝日です。きっかけは、ソノラ・スマート・ドッドという一人の女性の呼びかけによります。ソノラの父親は軍人で、南北戦争から復員した後に男手ひとつで6人の子どもたちを育て上げました。末っ子だったソノラは、ある日教会の説教で、母の日があることを知りました。そこで、「母をたたえる日があるならば、父をたたえる日があるべきだ」と思い、父の偉業を称えようと1909年に牧師協会へ「父親へ感謝する日も作ってほしい」と嘆願しました。その思いによって1910年、ソノラの父の誕生月である6月に初めて父の日の式典が開催され、ソノラは父のお墓に白いバラを献げました。しかし、父の日の式典が一般に浸透するまでには、実に6年もの年月がかかり、1916年の式典で当時のウィルソン大統領が、演説を行ったことにより多くの人が認知するようになりました。その後、1966年にはジョンソン大統領が「父の日」を称賛する大統領告示を出し、6月の第3日曜日を「父の日」と定め、1972年に正式な国の記念日に制定されました。日本では1950年代に伝わりましたが、広く認知されたのは、1980年代になってからです。

今月の聖句

ひと ころろ おお はか しゆ み むね じつげん
人の心には多くの計らいがある。主の御旨のみが実現する。

(箴言19:21)

今月のさんびか♪

こどもさんびか 28 (グローリア、グローリア) 讃美歌21…38

今月の礼拝では旧約聖書の創世記からヤコブとヨセフの物語について学びます。登場する人物を少しだけ整理しておきましょう。ヤコブとヨセフは父と息子の関係です。ヤコブの父はイサク、イサクの父はアブラハム、つまりヤコブはアブラハムの孫にあたります。ヤコブはヘブライ人の族長で、別名をイスラエルといいます。ヤコブの子どもたちがさらに部族を率いていくことにより、イスラエルの民すなわちユダヤ人はみなヤコブの子孫を称することになるのです。

ヤコブには双子の兄エサウがいました。しかし、その兄エサウとの間で問題が発生し、ヤコブは故郷を離れて避難しなければならなくなりました。その問題とは?!…第1週をお楽しみに☆



さて、ヨセフには10人もの兄がいましたが、父ヤコブから可愛がられていました。さらに兄たちに対して生意気な態度でもありました。兄たちはそんなヨセフのことをおもしろく思っていませんでした。兄たちの策略により事件が発生！その事件とは?!ヨセフの運命はいかに?!…第3週、4週をお楽しみに☆

今月のさんびか28「グローリア、グローリア」は、26「グローリア、グローリア、グローリア」、32「すべてのひとよ」と同様に、テゼ共同体による賛美歌の一つです。テゼ共同体とは、フランス東部ブルゴーニュ地方のテゼという小さな村にキリスト教の教派（プロテスタント、カトリック、東方正教会）を超えた祈りの共同体です。改革派の牧師の子としてスイスに生まれたブラザー・ロジェさん（1915-2005）は、キリスト教の人たち同士が争っている姿に心が痛み、教派を超えた和解を生きる共同体を作りたいという希望を持ち、故郷スイスを離れてこの村に移り住み、祈りと労働の生活を始めました。1940年、第二次世界大戦中のことでした。彼はユダヤ人難民を匿い、戦争孤児たちを迎え入れました。1943年に彼は牧師となり、1949年には志を同じくする7人のブラザーたちが加わり、テゼ共同体が正式に発足しました。現在、テゼ共同体ではブラザーたちがキリスト者の和解と一致を目指して活動しています。世界各国から若者を中心に一週間の短期滞在プログラムも設けられています。毎日、朝、昼、夕の3度、和解の教会と呼ばれる礼拝堂に集い、歌と聖書朗読、とりなしの祈り、そして、長い沈黙からなる祈りの時間がもたれています。その祈りで歌われる歌はカノン（輪唱）や、短いもので、それらを繰り返して歌うことで祈りへと導く役割を持っています。賛美では伝統的な典礼文（ラテン語）を歌詞としてよく用いています。ラテン語をキリスト者共通の祈りの言葉として考え、いろいろな国の人たちと共に守る礼拝の際にラテン語の歌詞で歌うことも、たいへん意義深いことでしょう。



26「グローリア、グローリア、グローリア」が日ごとの祈りなどで用いられる「グローリア・パトリ」（神さま・イエスさま・聖霊の3つが一体であるとする三位一体の神への頌栄を歌詞とする賛美）であるのに対して、この28「グローリア、グローリア」は、ルカ2:14のイエス=キリストの誕生を歌詞とする、クリスマス用の曲ですが、もちろんクリスマスに限らず、日ごろの礼拝すべてで用いることができます。この曲は、2小節遅れで歌う4部のカノン（輪唱）で、2小節でDm-Gm-C-Fのコードを繰り返します。順々に歌い始めますが、終わる際には、全声部が複縦線、もしくは終止線のところで、その直前の音を引き延ばして、同時に歌い終わるようになっています。この曲は、「今日、キリストが生まれた。救い主が現れた。」と歌うもう一つのカノン（輪唱）と同時に歌うことができるようになっています。リコーダーやヴァイオリン、トランペット、チェロなど、多彩な楽器のオブリガードも付けられていて、イエス=キリストの誕生を祝うのにふさわしい歌となっています。クリスマスのキャンドルサービスなどろうそくを灯す礼拝では、その点火の際に繰り返して歌うことができます。

おたんじょうびおめでとう🎂

6月生まれのお友だち